

# 3年 道徳

主題名	人を思いやる心			
中心内容項目	A-5 親切、思いやり 六べえじいとちよ			
	令和7年	2月	3日	5校時
	児童	3年	1組	10名
授業者	藤崎 まゆみ			

## 1 主題設定の理由

### (1) ねらいとする道徳的価値（教師の価値観）

第3学年及び第4学年のA-5「親切、思いやり」は、「相手のことを思いやり、進んで親切にすること」とある。

思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。親切は、それを励ましや援助などの具体的な行為として実行することである。中学年は、学校生活を中心として、徐々に活動範囲が広がり、様々な人との関わりも増えていく。相手の気持ちを察したり、より深く理解したりすることができるようになる一方で、自分とは違う考え方や感じ方を汲み取ることができず、自分本位の思いを押しつけてしまうこともある。相手の気持ちや置かれている状況などを自分のこととして想像し思いやり、進んで親切にする態度を育てたい。

### (2) 児童の実態（児童観）

本学級の児童は、学級全体として「みんなで頑張ろう、みんなでやり遂げよう」という雰囲気があり、トラブルも少なく仲がよい。アンケートの結果からも、ほとんどの児童が普段から人に親切にしようという気持ちをもっていることがわかった。親切にしている相手は友達や家族が多く、目に見える手助けを親切ととらえている児童が多い。相手の気持ちや置かれている状況に目を向け、相手の気持ちを尊重して、どういう行動をとることが親切になるのかと考えて行動できることが大切であるということに気付かせたい。

### 【事前アンケート】 (10名 実施)

内容	結果
あなたは、普段周りの人に親切にしていますか。	・はい・・・10人 ・いいえ・・・0人
誰に親切にしていますか。	・友達 ・小さい子 ・先生 ・家族 ・下級生
それは、どんなこと（親切）ですか。	・給食の手伝い ・落し物を拾ってあげる ・「一緒に遊ぼう」と声をかける ・水の入ったバケツを持つ ・勉強を教える
なぜ親切にしようと思ったのですか。	・一人で大変そうだな ・困っているみたいだな ・喜んでくれるかな ・水が重そうだな ・一人で寂しそうだな ・みんなもいい気持ちになる
親切にしたときに、残念な思いをしたことがありますか。	・はい・・・2人 ・いいえ・・・8人

### (3) 教材への思い（教材観）

本教材は、ひとりぼっちの六べえが、主人公ちよの温かい心に触れ、孤独な心を少しずつ解きほぐしていくという話である。村人と口をきかず、いつも暗い顔をしている六べえじいのことを思い、六べえじいの家に毎日ふかし芋や煮物などを届けるちよ。ちよの相手を思いやる温かい親切とちよだけでなく村人にも心を開くようになった六べえじい。

ちよがどんな気持ちから六べえじいのところを通ったかを考えさせることで、相手のことを思いやる心に迫っていききたい。

## 2 総合単元ユニットとの関係

少ない人数であるため、学級全員で活動する機会が多く、その関わりの中で、友達のよいところや手本にしたいところなどを見つけてきた。学年が進むにつれて児童会活動なども始まり、様々な他者と関わり集団を広げていこうとする楽しさにも気付くようになるであろう。同時に、様々な他者と関わり円滑な人間関係を築くためには、自分の思いや考えを理解してもらっただけでなく、多様な思いや考えを知り、相手の思いや考えを理解しようとする思いやりが必要である。

普段の係活動や、卒業進級の取組に意欲的に取り組ませる中で、お互いの立場や考えを理解し合い、自分のできる範囲で協力し合うことがよりよい人間関係を構築していくということに気付かせていきたい。

## 3 研究との関わり

（学びの主体意識をもち、道徳的な問題を自分事として捉え、自己の生き方を考えられるようにする指導の工夫）

### 児童の「？」を大切に、「課題」を設定する

- ・主題や教材の内容に興味や関心をもたせる
- ・内容項目に注目させ、課題へつなげる

### テーマ発問を用いて価値にせまる

- ・自分事として課題を追求できる発問
- ・自らの問いを思考の土台とし、価値にせまる

### 児童の抱いた問いを生かす（主体意識をもたせる）

- ・自ら問いをもち、内容項目に関して追究する場面を設定

### 共通解を土台にし、納得解を導き出す

- ・価値についての自分の考えをもたせる

## 4 本時の学習

### (1) 本時のねらい

親切な行動をしたちよの姿について話し合う活動を通して、相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする態度を育てる。

### (2) 本時の展開

	活動内容・予想される児童の反応 (○発問 ◎中心発問)	教師の支援・評価・研修との関わり ●支援 ◎研修との関わり
価値への方向付け	<p>1 ねらいとする道徳的価値に対する興味・関心を高め、「課題」を設定する</p> <p>○あなたは普段、周りの人に親切にしていますか。</p> <p>○親切にした時に、残念な気持ちになったことはありませんか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《本時の課題》 親切って なあに？</p> </div> <p>2 教材「六べえじいとちよ」を通して、「課題」を追究する</p> <p>○親切だなと思った人はいましたか。</p> <p>・ちよ</p> <p>○ちよは、どんな気持ちでふかし芋を置いてきたのでしょうか。</p> <p>・六べえじいがさびしそう。 ・かわいいそうだなと思った。</p> <p>○不思議だな、どうしてかなと思ったことはありますか。</p> <p>本時の内容項目に関して、子どもが個別に思考を深める</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;">ちよは、なぜ六べえじいの家に通い続けたのだろう。</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;">ちよは、どうして六べえじいに声をかけなかったのだろう。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>・一人ぼっちでかわいいそうだな。</p> <p>・六べえじいに元気がなってほしいな。笑顔になってほしいな。</p> <p>・六べえじいに喜んでほしい。</p> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>・いつかは六べえじいに伝わるかな。</p> </div> </div> <p>◎ほかの村人達とちよの違いは何でしょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《児童の思考の方向性》（共通解） 相手の立場に立ち 思いやりの気持ちをもって 行動しよう</p> </div>	<p>◎問題意識をもたせ、学びの主体意識を高める。</p> <p>●安心感のある雰囲気づくりをする。</p> <p>●アンケートの結果を提示する。</p> <p>●登場人物を紹介し、教材にスムーズに入れるようにする。</p> <p>●「誰が、どんな親切をしたか」を考えながら読むよう、読みの視点を与える。</p> <p>●児童の思考を整理し、児童の問いへとつなげていく。</p> <p>●問い返しをしながら、思考の助けができるようにする。</p> <p>◎それぞれ考え、交流した自らの問いを思考の土台とし価値に迫る。（中心発問）</p> <p>◎この時間の学びを整理しながら共通解を整理する。</p> <p>●自分の経験を話し合う中で、何気ない当たり前のことも親切であることに気付かせる。</p> <p>◎児童一人一人が、自分との関わりで、納得解をまとめ、今後の生活につなげていけるようにサポートする。</p>
	価値の追究・把握	
価値の自覚・意欲化	<p>3 価値について納得解をまとめる</p> <p>○今までにお礼を言われたり、感謝されたりしなくても親切にしたことはありますか。</p> <p>○今日の学習で、自分が感じたことや考えたことをノートにまとめましょう。</p>	

### (3) 本時の評価について

親切な行動をしたちよの姿について話し合う活動を通して、相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする態度を育てる。